

# 都市の交通課題 についての調査結果

2019/7/1



紀尾井町戦略研究所

# 調査概要

## ■調査目的

- 各種交通手段が発達している東京23区(十三鷹市、武蔵野市)における交通課題を可視化、利用者のニーズを定量的に分析する。
- 互助モビリティサービスCREWの利用者に対して、その利用理由や利用後の行動、意識の変化について探る。

## ■調査詳細

	対象者	方法	有効回答数	調査時期
都市生活者調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予備調査 20歳以上の都市生活者(23区、三鷹市、武蔵野市に在住・在勤・在学者)</li> <li>・本調査 予備調査で「普段の移動に関して不便、不快感を感じている」と回答した、移動に課題がある人</li> </ul>	インターネットアンケート	予備調査 39,779s 本調査 20,600s	2019/5/17～21
ライダー調査	CREWライダー	インターネットアンケート	636s	2019/5/28～31

# 回答者属性

単位：%

	都市生活者調査		ライダー調査
	予備調査	本調査	
性別 男性	53.9	52.8	59.7
女性	46.1	47.2	40.3
年齢 20代	12.5	14.3	49.5
30代	20.8	24.0	31.4
40代	26.8	27.1	14.9
50代	25.2	23.5	3.6
60歳以上	14.7	11.1	0.5
居住都道府県			
埼玉県	8.2	9.5	1.6
千葉県	7.0	7.8	1.9
東京都	75.8	71.8	89.6
神奈川県	9.1	10.9	6.1
その他	-	-	0.8
職業			
公務員	2.7	2.8	1.3
経営者・役員	2.9	3.0	13.2
会社員・職員	58.0	62.1	64.2
自営業・自由業	7.2	6.5	11.6
専業主婦(主夫)	9.7	8.9	0.6
パート・アルバイト	9.9	8.7	4.4
学生	2.1	2.2	3.9
無職・その他	7.4	5.8	0.8

# 調査結果サマリー

## 都市生活者の約半数が日常での移動に不快感や不便さを感じているものの、そのほとんどの人は“我慢して移動”している状態

- 都市生活者の約半数(46%)が外出時の移動に、不快感や不便さを感じている。
- それらの人々が移動に不快感や不便さを感じるのは、「自宅から最寄り駅までの移動」(43%)、「買い物の行き帰り」(38%)、「勤務地・学校から最寄りの鉄道駅までの移動」(32%)といった日々の生活に欠かせない移動の状況が上位に並んだ。
- それらの状況への対処として「不快だが、我慢して移動した」がほぼすべての状況でトップ、「徒歩で目的地まで行った」も多い。

## 都市の移動課題解決に必要なのは“既存交通機関の拡充”、互助モビリティにはその補完的役割が期待されている

- 都市での移動課題を解決には、「乗り合いバス」「タクシー」など既存の交通機関の拡充が求められている。
- 現状では、互助モビリティは認知、利用ともになり低い。
- 互助モビリティには安全対策がなされた前提で「公共交通機関が止まったとき/ないときに移動手段が増えて便利になる」といった既存の交通機関の補完的役割が期待されている。

## CREW利用者では“時間帯や場所を気にせず、外出するようになった”という変化が見られるが、CREWのような互助モビリティサービスに期待することは“既存交通機関がないときの補完的役割”

- CREW乗車理由は「公共交通機関がない時間帯でも利用できるから」(59%)、「気軽に利用できるから」(54%)
- CREWライダーの約6割がCREWを利用するようになって「時間帯や場所を気にせず、外出するようになった」との変化を感じている。その他、「移動の回数が増えた」「タクシーに乗る機会が増えた」という変化も。
- 互助モビリティサービスには「公共交通機関がない早朝や深夜などに移動手段が増えて便利になること」が71%と非常に高く、既存の交通手段に対する補完的役割としての期待が高い。



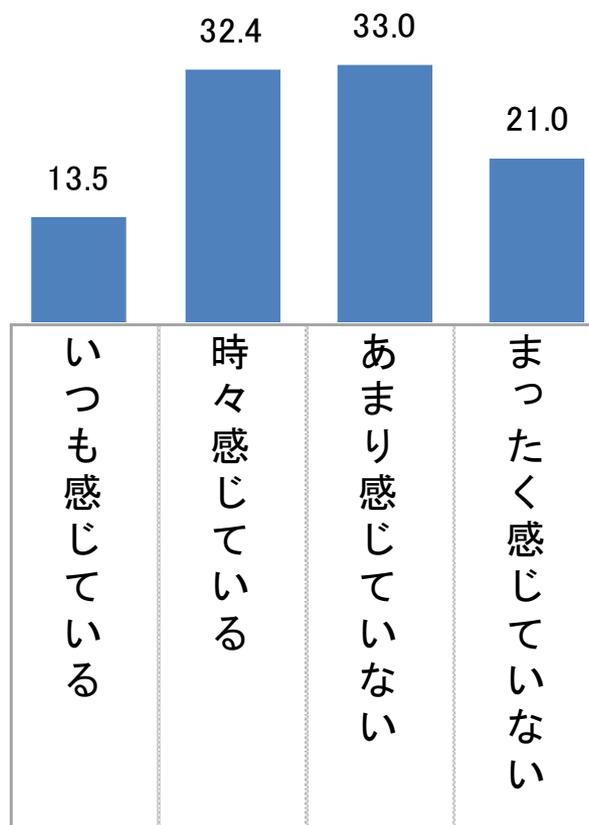
# 都市生活者調査結果

# 移動の不便/不快感

- 都市生活者の46%が移動に関して、何らかの不便さや不快感を感じている

23区、三鷹市、武蔵野市  
在住・在勤・在学者

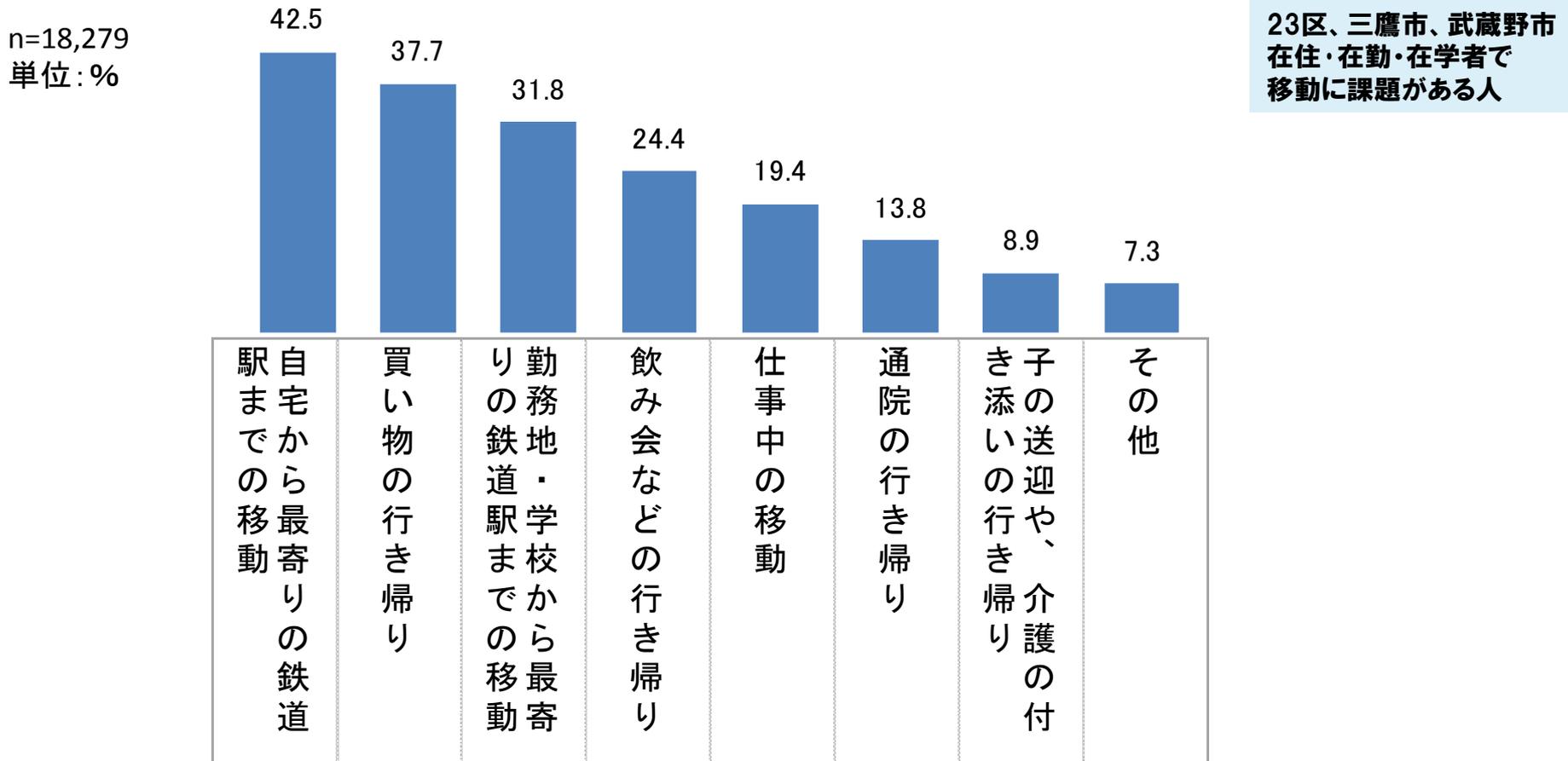
n=39,779  
単位:%



Q あなたは通勤・通学時、買い物など外出時の移動の際に、不快感や不便さを感じることがありますか。

# 不便や不快感を感じる状況

- 不便さや不快感を感じる内容は「自宅から最寄りの鉄道駅までの移動」(43%)、「買い物の行き帰り」(37%)、「勤務地・学校から最寄りの鉄道駅までの移動」(32%) など



※本調査では上記7つのシーン別にその時の曜日や時間帯、状況、対処法などの実態を聴取。結果はP9、10を参照のこと。

# 自宅から最寄り駅の移動における不便や不快感

- 不便・不快感が高い居住地は「三鷹市」「武蔵野市」「練馬区」「江戸川区」「目黒区」「港区」など多くの地域
- 東京のその他地域や東京に隣接する県に住んでいる人も自宅から最寄り駅の移動に不便さを感じている割合が高い

n=18,279  
単位：%

・居住地別割合(%)

三鷹市	53.8
武蔵野市	50.8
練馬区	45.0
江戸川区	42.5
目黒区	42.3
港区	42.3
足立区	41.6
荒川区	41.5
世田谷区	40.8
大田区	40.3
江東区	40.0
杉並区	39.9
中野区	39.3
葛飾区	38.7
中央区	37.8
北区	36.5
新宿区	35.2
板橋区	34.7
台東区	34.3
豊島区	33.5
品川区	32.8
墨田区	32.3
文京区	31.3
渋谷区	29.5
千代田区	29.4

その他東京	45.4
千葉県	47.3
埼玉県	48.8
神奈川県	47.0

23区、三鷹市、武蔵野市  
在住・在勤・在学者で  
移動に課題がある人

※40%以上に網掛け

# 不快・不便を感じた曜日、時間帯と理由

- 移動に不快・不便を特に感じるのは、「平日朝(6～10時)」「平日夕方以降(17時～24時)」
- 不快・不便を感じる理由は「雨や雪など天候が悪いとき」、「荷物が多いとき」、「バスや公共交通機関の混雑」など

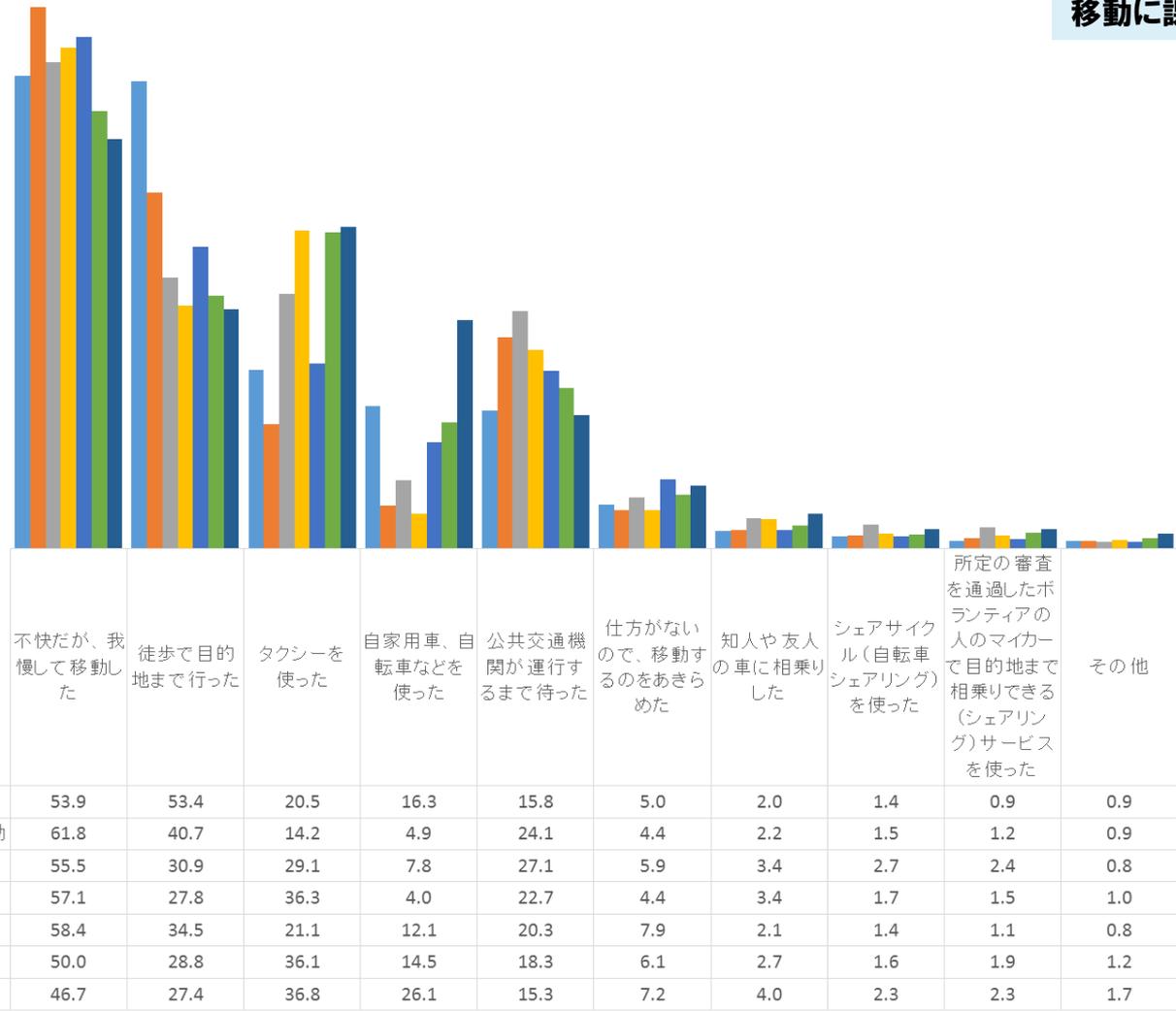
23区、三鷹市、武蔵野市在住・在勤・在学者で移動に課題がある人

※25%以上に網掛け		日常の移動		非日常の移動				
		自宅から最寄りの鉄道駅までの移動	勤務地・学校から最寄りの鉄道駅までの移動	仕事中の移動	飲み会などの行き帰り	買い物の行き帰り	通院の行き帰り	子の送迎や、介護の付き添いの行き帰り
n		7079	5283	3218	4067	6252	2268	1461
曜日・時間帯	平日：早朝(3～6時)	8.2	2.9	3.1	2.5	1.4	2.6	2.8
	平日：朝(6～10時)	75.5	77.1	49.5	4.3	8.6	32.0	32.1
	平日：午前(10～12時)	14.0	9.8	28.0	2.6	14.2	38.2	25.3
	平日：午後(12～17時)	11.6	7.4	33.4	3.2	21.5	38.9	32.1
	平日：夕方(17～20時)	29.1	45.3	39.6	15.9	35.8	27.7	38.5
	平日：夜(20～24時)	26.4	24.1	20.6	70.2	19.4	9.2	11.8
	平日：深夜(24時～3時)	9.9	5.0	7.0	29.2	4.4	3.6	3.0
	休日：早朝(3～6時)	3.8	1.6	1.9	2.5	1.5	2.3	3.3
	休日：朝(6～10時)	11.8	4.9	4.5	1.8	5.7	11.3	9.9
	休日：午前(10～12時)	14.7	4.2	5.7	1.8	22.6	17.8	16.3
	休日：午後(12～17時)	13.7	4.3	6.7	2.9	41.7	16.7	19.9
	休日：夕方(17～20時)	16.6	10.8	9.8	10.0	39.6	11.2	17.7
	休日：夜(20～24時)	16.8	8.6	7.5	31.1	19.2	5.2	7.5
	休日：深夜(24時～3時)	7.9	2.9	3.3	16.1	4.0	3.0	2.5
理由	バスや公共交通機関が混雑しているから	29.7	57.8	59.8	55.7	47.6	42.0	38.9
	バスや公共交通機関が時間通りに来ないから	18.8	21.5	23.8	17.6	13.5	21.0	18.0
	自宅と駅の間に坂道が多いから	17.3	8.3	8.1	6.2	7.4	10.9	11.1
	自宅と駅の間の距離が長いから	44.4	28.4	22.6	23.4	20.9	29.3	24.7
	深夜や早朝などはバスや公共交通機関が運行していない、もしくは本数が少ないから	14.7	7.7	10.3	26.3	8.0	11.9	9.0
	雨や雪など天候が悪いとき	60.8	43.7	33.5	32.3	38.2	41.2	49.8
	荷物が多いとき	49.7	34.5	37.4	27.9	63.9	26.5	42.6
	病気や怪我などで具合の悪いとき	24.6	17.2	15.8	14.0	16.2	51.9	29.2
	事故や災害などで公共交通機関が運休、遅延したとき	13.9	22.2	21.7	18.5	12.4	12.8	12.2
	イベントなどで大人数が集まったため、バスや公共交通機関が足りないとき	4.9	8.5	12.3	12.8	10.7	6.6	7.3
その他	7.4	6.0	6.4	5.4	6.7	5.8	9.0	

# 不快・不便を感じたときの対処法

- いずれの状況においても「不快だが、我慢して移動した」が最も高い

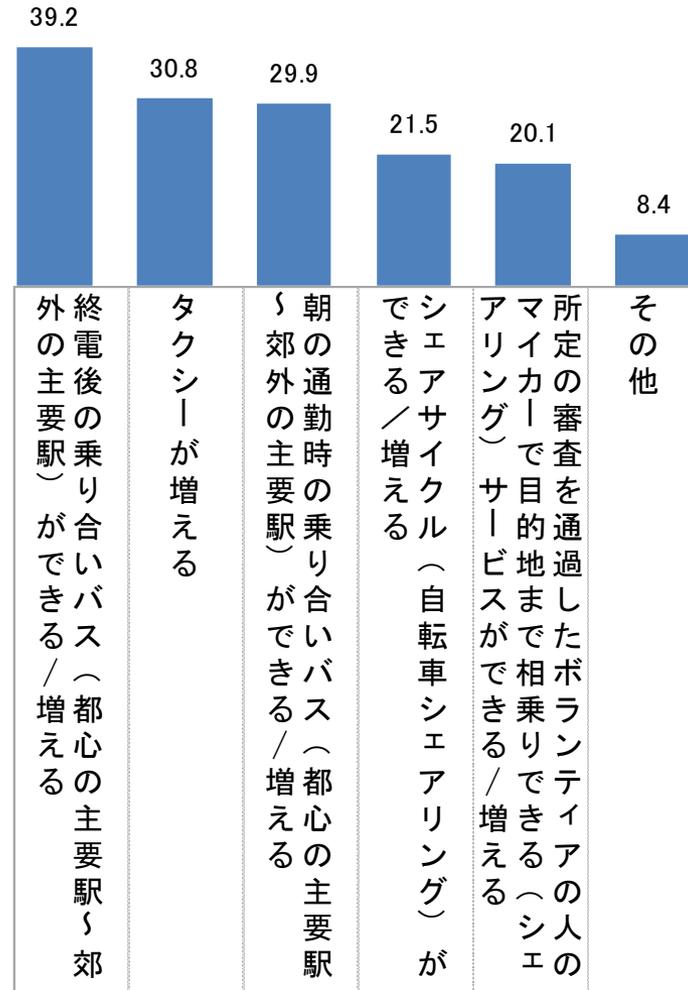
23区、三鷹市、武蔵野市在住・在勤・在学者で  
移動に課題がある人



# 交通課題の解決が期待できるサービス

- 「終電後の乗り合いバス(都心の主要駅～郊外の主要駅)ができる/増える」が39%と最も高く、次いで「タクシーが増える」(31%)となっており、現在の二次交通の拡充が望まれている

n=20,600  
単位:%

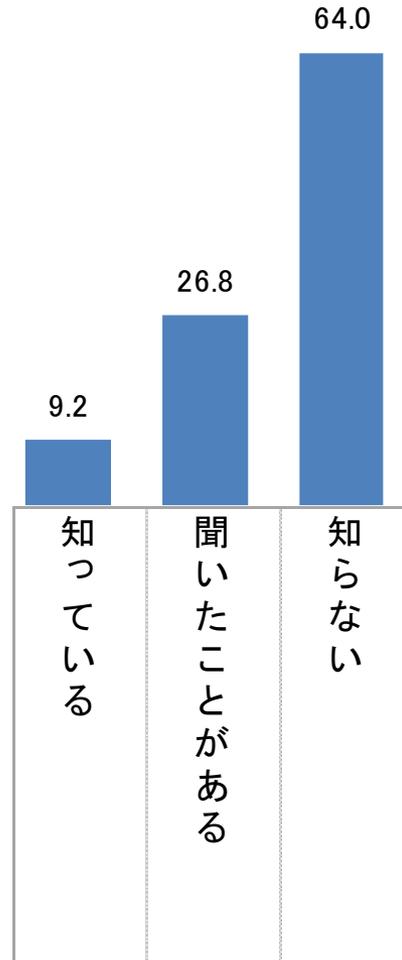


23区、三鷹市、武蔵野市  
在住・在勤・在学者で  
移動に課題がある人

Q あなたが感じている、移動の不便さや不快感が解決できそうなサービスはどれですか。いずれのサービスも、安全面が等しく保障されているものとしてお考えください。

- 互助モビリティの認知は低い

n=20,600  
単位：%



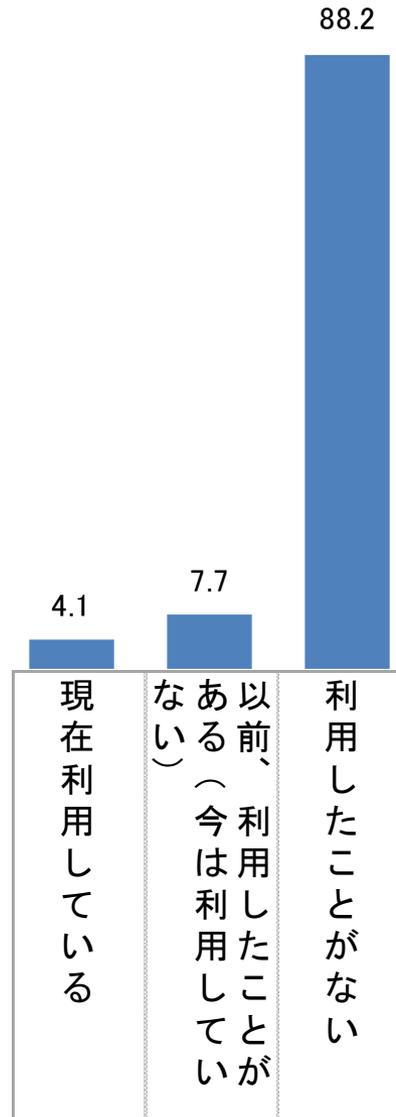
23区、三鷹市、武蔵野市  
在住・在勤・在学者で  
移動に課題がある人

Q あなたは、「一般の人がボランティアで自家用車で目的地まで載せてくれる相乗りサービス」というものをご存知ですか。



- 互助モビリティ認知者での利用経験は、「利用したことがない」が88%と圧倒的

n=7,416  
単位:%

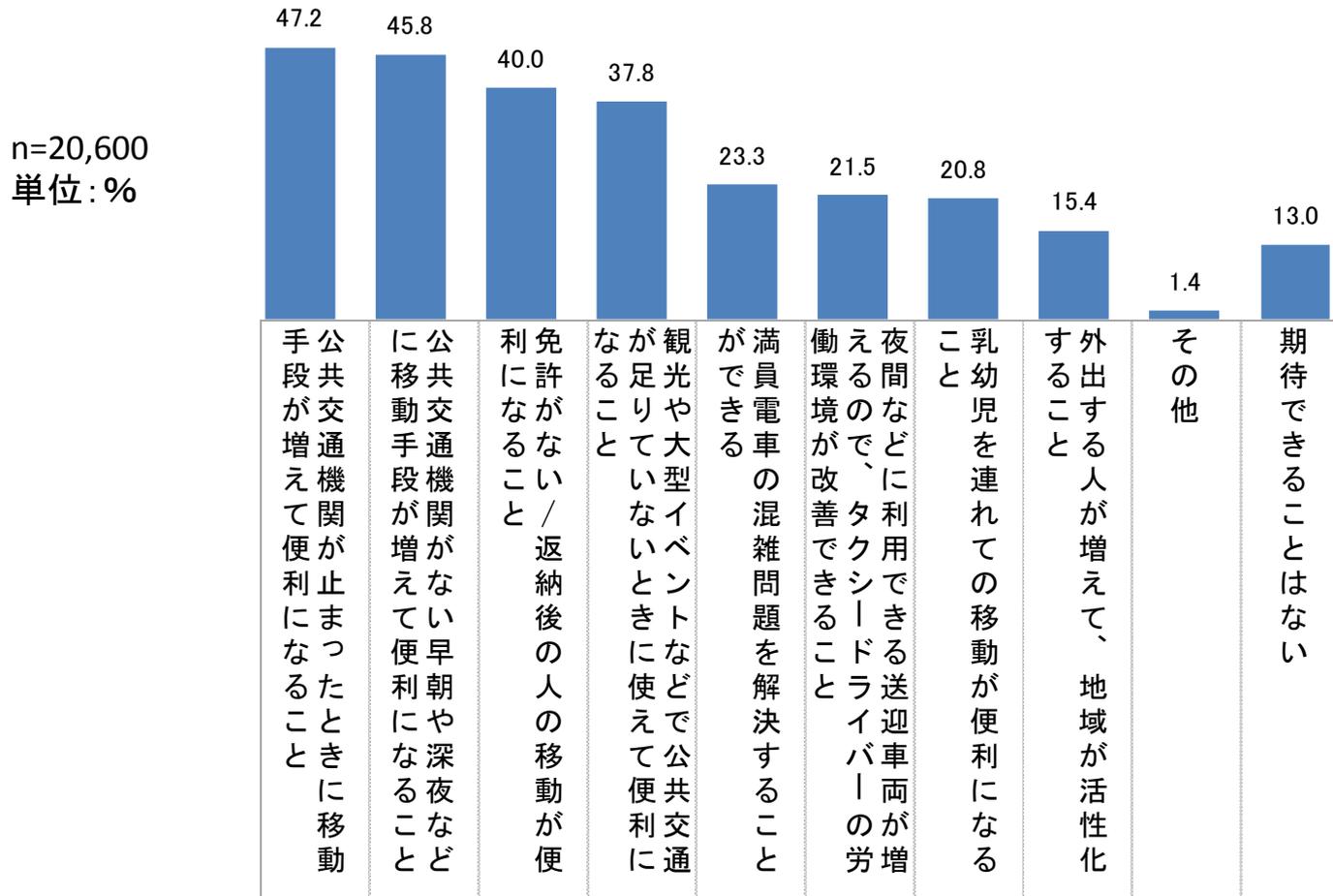


23区、三鷹市、武蔵野市在住・在勤・在学者で移動に課題がある人のうち互助モビリティ認知者

Q そのサービスを利用したことがありますか。

# 互助モビリティに期待すること

- 「公共交通機関が止まったときに移動手段が増えて便利になること」(47%)、「公共交通機関がない早朝や深夜などに移動手段が増えて便利になること」(46%) など既存の交通機関の補完的役割としての期待が高い
- 「免許がない/免許返納後の人の移動が便利になること」も40%と期待感が高い



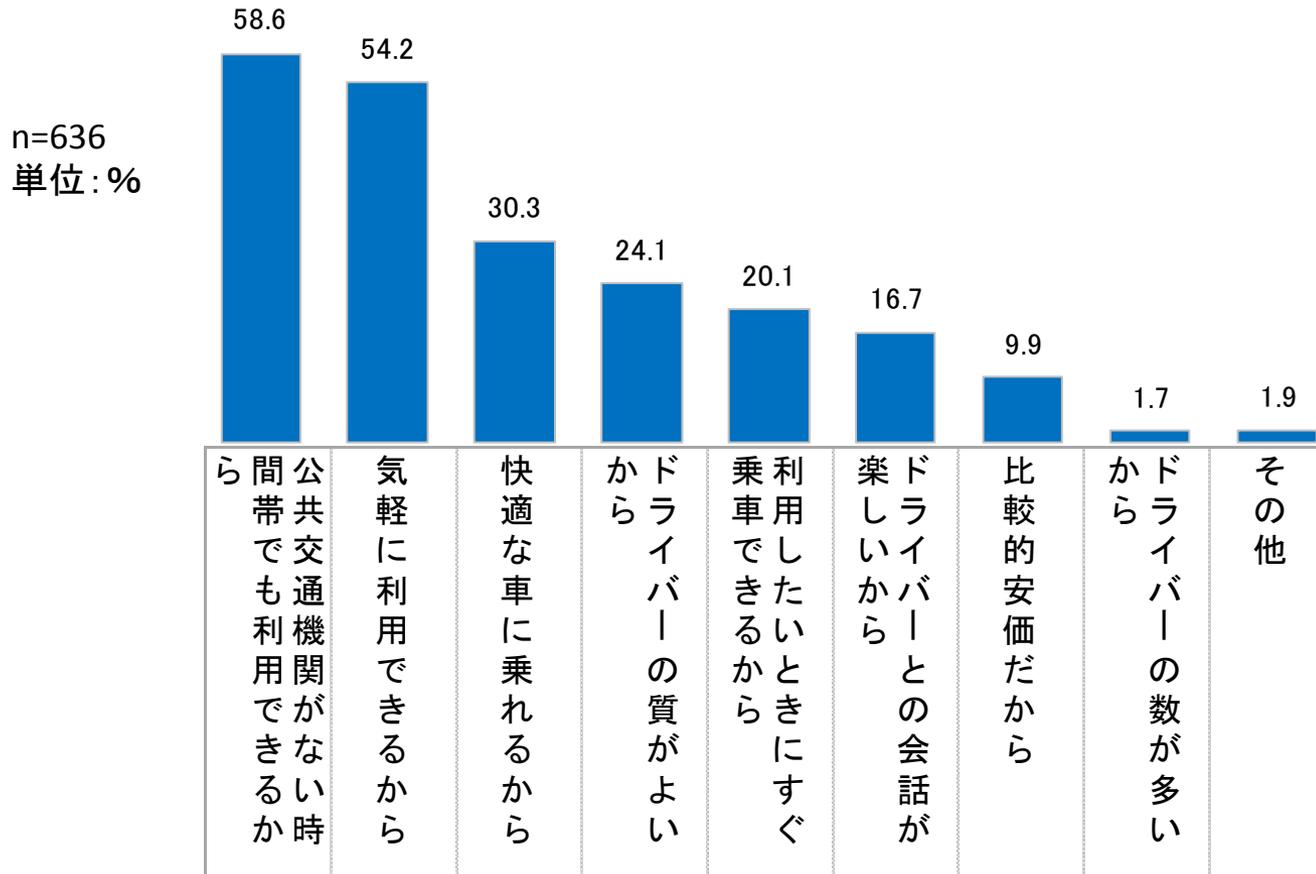
23区、三鷹市、武蔵野市  
在住・在勤・在学者で  
移動に課題がある人

# CREWライダー調査結果

# CREW乗車理由

- 「公共交通機関がない時間帯でも利用できるから」が59%と最も高く、次いで「気軽に利用できるから」(54%)

CREWライダー対象

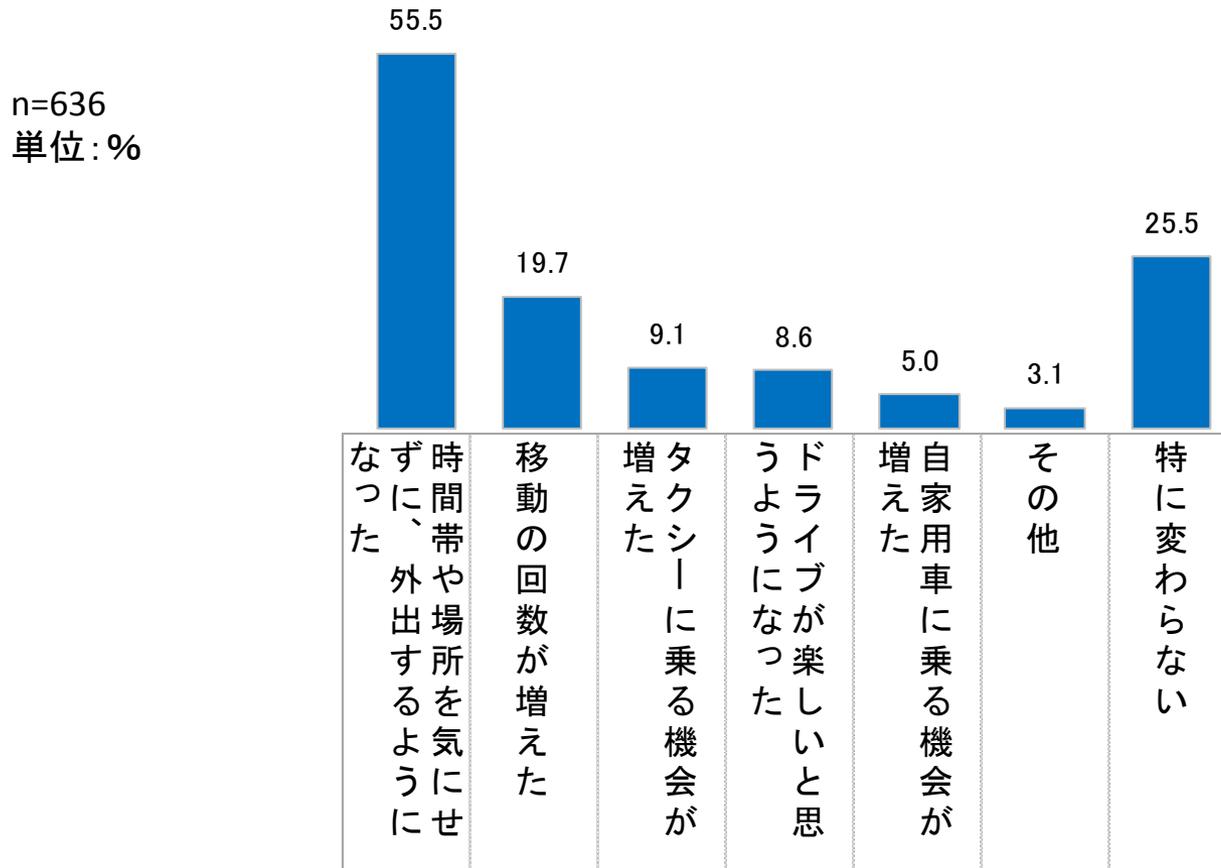


Q あなたがCREWを利用（乗車）する理由は何ですか。いくつでもお選びください。

# CREWを利用して変わったこと

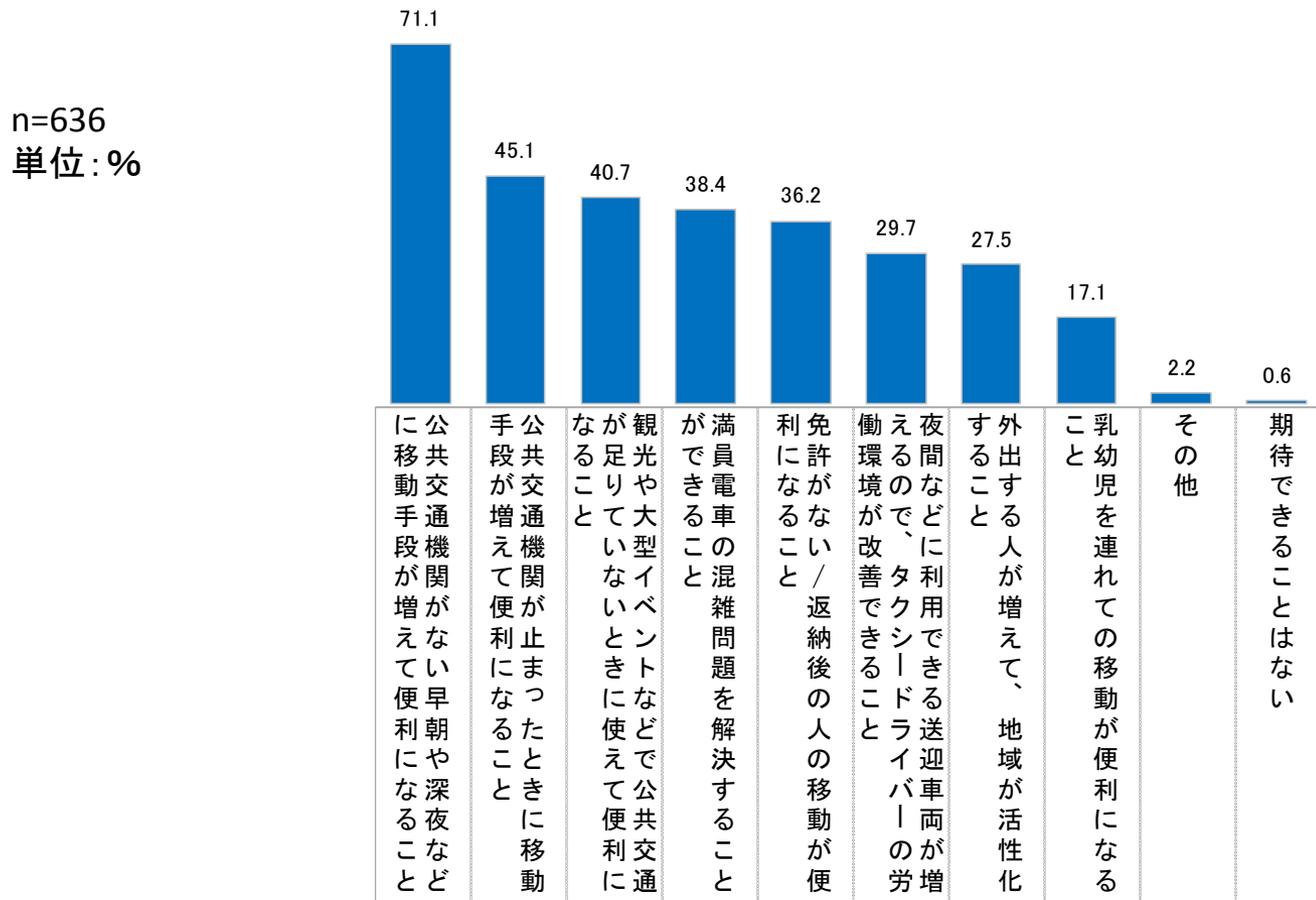
- ・「時間帯や場所を気にせず、外出するようになった」が56%と最も高い
- ・「移動の回数が増えた」(20%)、「タクシーに乗る機会が増えた」(9%)など移動が活性化している変化も見られる

CREWライダー対象



# 互助モビリティに期待すること

- 「公共交通機関がない早朝や深夜などに移動手段が増えて便利になること」が71%と最も高く、次いで「公共交通機関が止まったときに移動手段が増えて便利になること」(45%)、「観光や大型イベントなどで公共交通が足りていないときに使えて便利になること」(41%)が続く



CREWライダー対象

Q このような「所定の審査を通過したボランティアの人のマイカーで目的地まで相乗りできる（シェアリング）サービス」が拡大することによって、どのような効果が期待できると思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

EOF



紀尾井町戦略研究所